

令和8年度

# フレッシュ研修Ⅰ

(医療的ケア（自立活動）担当)の手引



徳島県教育委員会



# 目 次

第1章	フレッシュ研修Ⅰ（医療的ケア（自立活動）担当）と「とくしま教員育成指標」	
1	フレッシュ研修Ⅰ（医療的ケア（自立活動）担当）における「とくしま教員育成指標」の活用	1
2	本県が目指す教員像	1
3	キャリアステージについて	1
4	第1ステージ【基盤形成期】で求められる教員の姿	1
5	とくしま教員育成指標（特別支援学校教諭用）	2
	とくしま教員育成指標 資質・能力一覧表	3
第2章	フレッシュ研修Ⅰ（医療的ケア（自立活動）担当）の概要	4
第3章	フレッシュ研修Ⅰ（医療的ケア（自立活動）担当）実施要項	
1	目的	5
2	主催	5
3	対象	5
4	内容	5
5	年間研修計画	5
6	年間指導計画	5
7	指導教員を中心とする校内体制	6
8	校内研修年間指導計画及び指導記録	6
第4章	校内研修	
1	期日	7
2	内容	7
3	計画	7
第5章	校外研修	
1	研修内容	8
2	受講上の心構え	8
3	全体計画	9
4	研修内容とねらい	10~11
5	留意事項	12~13
第6章	課題研究	
1	課題研究テーマ	14
2	課題研究報告書の作成について	14~15
	（様式1）課題研究報告書	16
	（様式2）課題研究報告書	17~19
	（様式3）同意書	20
第7章	諸手続及び保存すべき文書	
1	校内研修年間指導計画及び指導記録等について	21
2	保存すべき文書について	21
	【校外研修の記録】	
	（様式1）校外研修の記録	23
	【校内研修様式（P21参照）】	
	（様式2）校内研修年間指導計画と実施報告	25~27
	（様式3）フレッシュ研修Ⅰ（医療的ケア（自立活動）担当）の所感	28
	（様式4）学校長・指導教員指導講評（フレッシュ研修Ⅰ（医療的ケア（自立活動）担当）を終えて）	29
	【校外研修様式（特別支援教育課提出用）】	
	（様式5）令和8年度フレッシュ研修Ⅰ（医療的ケア（自立活動）担当）欠席届	31
	（様式6）フレッシュ研修Ⅰ（医療的ケア（自立活動）担当）の欠席課題報告書鑑	32
	（様式7）フレッシュ研修Ⅰ（医療的ケア（自立活動）担当）の欠席課題報告書	33



# 第1章 フレッシュ研修Ⅰ（医療的ケア（自立活動）担当）と「とくしま教員育成指標」

## 1 フレッシュ研修Ⅰ（医療的ケア（自立活動）担当）における「とくしま教員育成指標」の活用

とくしま教員育成指標は、本県の教員一人一人が自身のキャリア段階を想起できる共通の指針を示すことにより、教員が教職生活全体を通して、効果的・継続的に学び続ける意欲を喚起するために策定された。

フレッシュ研修Ⅰ（医療的ケア（自立活動）担当）では、とくしま教員育成指標を、新規採用特別支援学校教諭（医療的ケア（自立活動）担当）（以下「初任者」という。）が現在身に付けている資質・能力を把握し、今後の教職生活を見通して自らの資質・能力を向上させるための具体的な手がかりとして、自身の振り返りや目標の設定に活用する。

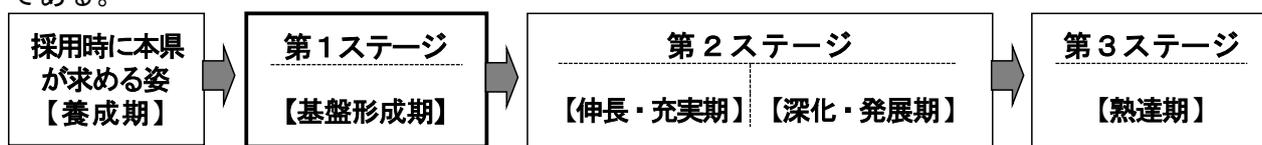
## 2 本県が目指す教員像

「個性と国際性に富み、夢と志あふれる『人材』の育成」を目指し、主体的に学び続け自己を高める教員」

## 3 キャリアステージについて

「とくしま教員育成指標」では、「採用時に本県が求める姿」をスタートに、その後の成長段階を大きく3つのステージに分けている。

初任者が該当する第1ステージ【基盤形成期】では、教職の基礎・基本を身に付け、今後のキャリアアップのために、目指す教員像を具体的にし、学び続ける姿勢を形成していくことが重要である。



## 4 第1ステージ【基盤形成期】で求められる特別支援学校教諭の姿

学習指導や生徒指導・学級経営についての実践的指導力を磨き、教職生活の基盤を固めている。組織の一員として、他の教員と積極的に関わり、業務を誠実に遂行する中で、自身が果たすべき役割への自覚を高めている。また、保護者・地域社会と関わる習慣や、実践を振り返り改善する習慣を身に付けている。

【素養】社会性や他とのコミュニケーション力を高め、同僚からはもちろん地域社会からも多くのことを学んでいる。課題意識を明確にもち、解決に向けてたくましく挑戦している。

【授業力・学習指導】発問や板書等の基本的な知識や授業技術を身に付けるとともに、授業を構成、実践、省察・改善する一連の力を高めている。

【担任力・生徒指導】（幼児）児童生徒とのふれあいや観察を通して、（幼児）児童生徒の理解力を高めている。（幼児）児童生徒が所属する集団の課題を把握し、その解決のための基本的な知識や指導技術を身に付けている。

【特別な配慮・支援】【特別支援の充実】（幼児）児童生徒の教育的ニーズに対応するため、他の教員や家庭・地域と連携・協働しながら指導・支援に取り組んでいる。

【ICTの利活用】ICTを学習指導や学校業務の遂行に向けて効果的・効率的に利活用するための基本的な知識や操作技術を身に付けている。

キャリアステージ		採用時に本県が求める力	＜第1ステージ＞ 基礎形成期	＜第2ステージ＞ 伸長・充実期	＜第3ステージ＞ 熟達期
資質・能力	A 使命感・倫理観	○ 教育的愛情と熱意をもって教育活動に臨もうとしている。	○ 「とくしま」を愛し、徳島教育大綱に示されている「人材」の育成を目指し、使命感と情熱をもって、たくましく、粘り強く教育活動に取り組んでいる。	○ 使命感と教職への誇り、たくましい精神力と柔軟性をもって、教育活動を推進している。	○ 使命感と教職への誇り、たくましい精神力と柔軟性をもって、教育活動を推進している。
	B 職見・学び続ける力	○ 社会人としての常識やマナー、道徳性(情報モラルを含む。)を身に付け、法令遵守の精神に基づいた行動をしている。	○ 教育公務員としての自覚をもち、法令やセキュリティポリシー等を遵守するとともに、誠実かつ公正に職務を遂行し、家庭や地域の信頼を得ている。	○ 豊富な経験に裏付けされた識見を有し、課題意識と探究心をもって自己研鑽に努めるとともに、範を示している。	○ 豊富な経験に裏付けされた識見を有し、課題意識と探究心をもって自己研鑽に努めるとともに、範を示している。
	C 社会性・コミュニケーション力	○ コミュニケーションスキルを身に付け、他者と積極的に関わり、助け合っている。	○ 教職員、家庭や地域と幅広く関わり、自分の考えを適切に伝えながら、助け合っている。	○ 組織のコミュニケーションを活性化するとともに、管理職や学年・職種等の異なる教職員とのパイプ役となり、支え合う環境づくりをしている。	○ 組織のコミュニケーションを活性化するとともに、管理職や学年・職種等の異なる教職員とのパイプ役となり、支え合う環境づくりをしている。
	D 学校組織マネジメント力	○ 組織の一員として、目標と自分の役割を理解し、協働して責任を果たそうとしている。	○ 学校の経営方針を理解し、報告・連絡・相談を適切に行いながら、日々の教育活動に協働して取り組んでいる。	○ グループリーダーとして、創意工夫や企画力を発揮し、他のグループとも連携・調整しながら、組織を活性化させている。	○ グループリーダーとして、創意工夫や企画力を発揮し、他のグループとも連携・調整しながら、組織を活性化させている。
	E 連携・協働力	○ 家庭や地域と連携する重要性を理解し、ボランティア活動や地域の行事等へ参加している。	○ 互いの課題や悩みを解決するため情報交換を積極的に行うとともに、先輩教員に相談したり助言を求めたりしている。	○ 互いの課題や学びの共有を図るとともに、若手教員の範となるよう努めている。	○ 校内研修を充実させるとともに、若手教員に助言をしている。
	F 危機管理能力	○ 安全教育、防災教育、情報モラル教育、食物アレルギー対応等に関する危機管理の重要性を理解し、危険を察知したとき、状況に応じた行動をしている。	○ 安全教育、防災教育、情報モラル教育、食物アレルギー対応等に関する危機管理の知識を身に付け、早期発見や想定外の事態への対応に努め、緊急時に自分の役割を果たしている。	○ 危機管理に対する意識を高め、危険を予測して行動するとともに、安心・安全に配慮した環境づくりをしている。	○ 緊急時のシミュレーションを行い、対応を考え、グループの中心となって事故等の未然防止に向け行動している。
ICTの活用	授業力・学習指導	A カリキュラム・マネジメント力	○ 教育要領・学習指導要領の「目標」「内容」や系統等を理解している。	○ 学校教育目標を踏まえつつ、幼児児童生徒の実態に応じ、作成の意図を考えながら、学校のカリキュラムを活用している。	○ 学校教育目標を踏まえ、各学年間の系統や幼・小・中・高の接続を見通して、学校の特色を生かした創意工夫のあるカリキュラムを作成している。
		B 授業構想力	○ 幼児児童生徒の障がいや発達段階に適した授業イメージをもち、個や場面に応じた教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○ アセスメントや客観的な根拠に基づいた幼児児童生徒の個別の指導計画や年間指導計画に沿って、ICT等の効果的な活用や評価方法をとり入れた日々の保育・授業(以下、授業と表記。)を構想している。	○ 幼児児童生徒一人一人に応じ、育成を目指す資質・能力の定着を図るために、指導と評価の一体化を図り、教材等の開発やICT等の効果的な活用を取り組み、創意工夫のある授業を構想している。
		C 授業実践力	○ 基本的な指導技術を身に付け、幼児児童生徒の学習の様子を把握しながら授業を実践しようとしている。	○ 各授業において目標設定や指導内容・方法を考え、個々の幼児児童生徒の実態に即した教材・教具の活用による適切な指導・支援をしている。	○ 学びの質や長期的な変容にも目を向け、幼児児童生徒一人一人の習得状況を把握するとともに、新しい指導技術・指導方法・評価方法を積極的に取り入れ、適切に補充的・発展的な指導・支援をしている。
		D 授業省察力・改善力	○ 授業を分析して改善する手立てを理解し、実践しようとしている。	○ 授業の目標に沿った具体的な学習成果の記録や自己評価を行い、授業改善を行っている。	○ 担任と幼児児童生徒に関わる教員間で指導の効果を確認しながら授業改善を行うと、幼児児童生徒の得意意を認めることにより、学習意欲の向上につなげる支援を行っている。
		A 幼児児童生徒理解・指導力	○ 幼児児童生徒理解の意義や心身の発達の特徴について理解している。	○ 幼児児童生徒に向き合い、一人一人の人格を尊重し、共感的理解に努めて信頼関係を構築するとともに、社会的資質や行動力を高めるよう指導・支援をしている。	○ 幼児児童生徒の発達や個性等をより多面的に理解して信頼関係を構築し、長期的な視野をもって社会的資質や行動力を獲得できるように意図的・計画的に指導・支援するとともに、若手教員に助言をしている。
		B 集団づくり力	○ 担任の職務内容や集団づくりの意義を理解し、学級経営の基本的な指導方法を身に付けている。	○ 一斉授業において、個別目標に対応した題材を設定したり、役割をもたせたりして、集団づくりの工夫を行っている。	○ 内容により学級、学年、学部で行うもの、他の学部と合同で行うもの等の集団構成を行い、幼児児童生徒同士のコミュニケーションを促進し、自発的なコミュニケーションが増えるような集団づくりに積極的に取り組むとともに、若手教員に助言をしている。
	担任力・生徒指導	C 課題解決力	○ 学校生活の中で生じる様々な課題の発見と対応の方法について理解し、積極的に課題解決に取り組もうとしている。	○ 他の教職員や専門家のアドバイスを受けながら、特別支援教育の最新の知見に基づいた指導方法や指導技術を身に付けている。	○ 幼児児童生徒の望ましい行動を育てるために、ポジティブ行動支援の手法を用いて、課題の解決や問題の予防に取り組んでいる。
		D 未来ビジョン育成力	○ 将来の社会参加と自立の視点に基づき、キャリア教育・消費者教育・主権者教育の重要性を理解し、基本的な指導方法を身に付けている。	○ 個別の教育支援計画や個別の指導計画にキャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点から目標を設定し、一人一人の社会的・職業的自立の目標達成に向け、日々の指導・支援をしている。	○ 発達段階に応じて、グローバルな視野とキャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえた指導や、卒業後の生活を握った指導・支援について、学校全体における取組を推進している。
		E 目標の明確化・実態把握力	○ 幼児児童生徒の実態把握の必要性を理解し、指導目標を明確にしようとしている。	○ 個々に応じたアセスメントにより、幼児児童生徒一人一人の障がい特性を知り、特に配慮を必要とする様々な状態を理解している。	○ 各種発達心理検査、一般職業適性検査結果の活用や、課題分析等の客観的な根拠に基づいた実態把握に取り組み、指導目標を明確にしている。
		F チームによる組織力	○ 学校生活の中で生じる様々な課題の発見と対応の方法について理解し、チームで協力して解決する必要性を理解している。	○ 医療的ケアを必要とする幼児児童生徒が安心・安全な学校生活を送るために、養護教諭や学校看護師と連携し、給食における指導や医療的ケア等に取り組んでいる。	○ 外部専門家とのコンサルテーションを受けるなどして、問題行動をはじめとする個別の課題への対応や解決について、チームで積極的に取り組んでいる。
		G センターの機能の推進力	○ 特別支援学校のセンター的機能の役割を理解している。	○ 自校におけるセンター的機能について、校内組織や活動内容を理解し、先輩教員とともに、地域の学校への理解・啓発に取り組んでいる。	○ 特別支援学校の有する自立活動の指導のノウハウ等を活かし、地域の園・小中高等学校等の特別な支援を必要とする幼児児童生徒に適切な指導・支援について助言するとともに、関係機関との連携強化に取り組んでいる。
		H 地域貢献力	○ 特別支援学校が取り組んでいる、家庭や地域、企業等と連携・協働した実践について知っている。	○ 家庭や地域との連携・協働の意義を踏まえ、家庭や地域と積極的に関わり、協働活動に取り組んでいる。	○ 地域の教育活動についての情報を把握し、「早期からのキャリア教育」「エンカナル消費教育」「教職連携」「SDGs」等の取組において活用を図っている。
ICTを学習指導に活用する力	A ICTを学習指導に活用する力	○ 幼児児童生徒の活動の姿や思考の流れを踏まえ、ICTの活用場面等を想定しながら、学習指導案を作成している。	○ 幼児児童生徒の実態に応じ、育成を目指す資質・能力の定着に向け、目標と評価を関係付けして、ICTを積極的に取り入れた授業を構想している。	○ 幼児児童生徒一人一人に応じ、育成を目指す資質・能力の定着を図るために、学習内容に応じて、ICTを適切かつ効果的に活用した創意工夫のある授業を他の教職員と協働し実施するとともに、様々な支援機器についての知識を高めている。	
	B ICTを効率的な業務の遂行に活用する力	○ 学校業務に必要なアプリケーション操作や情報モラル・セキュリティに関する知識や技能を身に付けている。	○ 所属する組織のセキュリティポリシーを理解し、学級事務、校務において、学校業務支援システムやその他のクラウドサービスを活用している。	○ セキュリティポリシーを遵守し、学校業務支援システムやその他のクラウドサービスの効率的な活用について教職員に提案している。	

とくしま教員育成指標 資質・能力一覧表

【教諭等】とくしま教員育成指標

	5つの柱	記号	資質・能力
1	素養	A	使命感・倫理観
		B	識見・学び続ける力
		C	社会性・コミュニケーション力
		D	学校組織マネジメント力
		E	連携・協働力
		F	危機管理能力
2	授業力・学習指導	A	カリキュラムマネジメント
		B	授業構想力
		C	授業実践力
		D	授業省察力・改善力
3	担任力・生徒指導	A	児童生徒理解・指導力（小・中・高・養・栄） 幼児児童生徒理解・指導力（特）
		B	集団づくり力
		C	課題解決力
		D	未来ビジョン育成力
		E	目標の明確化・実態把握力（特）
		F	チームによる組織力（特）
4	特別な配慮・支援	A	個に応じた指導・支援力（小・中・高・養・栄）
		B	チームによる実践（小・中・高・養・栄）
		C	「わかった」「できた」を育む学習支援力（小・中・養・栄）
		D	「わかった」「できた」を育む生活支援力（小・中・養・栄）
		E	多様性に基づく学習支援力（高）
		F	多様性に基づく生活支援力（高）
	特別支援の充実	G	センター的機能の推進力（特）
		H	地域貢献力（特）
5	ICTの利活用	A	ICTを学習指導に活用する力
		B	ICTを効率的な業務の遂行に活用する力

- ※（ ）内の表記について  
 小 …… 小学校教諭  
 中 …… 中学校及び中等教育学校（前期）教諭  
 高 …… 高等学校及び中等教育学校（後期）教諭  
 特 …… 特別支援学校教諭  
 養 …… 養護教諭  
 栄 …… 栄養教諭
- ※（ ）がない項目は、全校種・職種が該当する

## 第2章 フレッシュ研修Ⅰ（医療的ケア（自立活動）担当）の概要

教育公務員特例法第23条に基づく法定研修現職研修の一環として1年間の研修を実施

- 【目的】 ○実践的指導力と使命感を養う  
○幅広い知見を得させる

【内容】

月	校内研修	校外研修 : 計7.0日		
		全体研修 : 3.0日	「医療的ケア（自立活動）担当」教諭 対象の研修 : 4.0日	
4	年間20時間	●開講式/服務/学校事務 オリエンテーション 講義 [1.0日]	●第1回特別支援学校 医療的ケア担当者研修会 (オンライン研修) [0.5日]	<div style="border: 2px solid blue; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;"> <b>スキルアップ研修①②③④</b> </div>
5	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎研修</li> <li>・学校運営</li> <li>・特別支援教育</li> </ul>			
6			<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;"> <p>○自分の課題を明確にする。 （5～6月） [1.0日]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スキルアップ研修① ： 6月中旬</li> </ul> </div>	
7		●コミュニケーション ネットワーク構築研修 [1.0日]		<p>課題解決への取組 （6月～1月） 校内研修や校外研修の機会を積極的に活用し、設定した自己課題の解決に取り組む。</p>
8		●特別支援教育研修 [0.5日]	●実技研修（対面研修） [0.5日]	
9			●第2回特別支援学校 医療的ケア担当者研修会 (オンライン研修) [0.5日]	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;"> <p>○課題解決に取り組むことができているか検証する。 （7月～1月）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スキルアップ研修② ： 7月29日 [②0.5日]</li> <li>・スキルアップ研修③ ： 10月23日 [③0.5日]</li> </ul> <p>途中経過を報告し、指導助言を受け、改善を図る。</p> </div>
10				
11				<p>1年間の研修の成果を分析 （1月～2月）</p>
12				
1				<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;"> <p>○課題解決に向けた取組を報告 スキルアップ研修④ ： 1月20日 [0.5日]</p> <p>課題研究の成果を報告</p> </div>
2		●教職キャリアデザイン 研修 体験発表 [0.5日]		
3				<p>課題研究の成果を校内で報告・活用する。</p>

# 第3章 フレッシュ研修Ⅰ（医療的ケア（自立活動）担当） 実施要項

## 1 目的

フレッシュ研修Ⅰ（医療的ケア（自立活動）担当）は、新規採用特別支援学校教諭（医療的ケア（自立活動）担当）に対して、教育公務員特例法第23条の規定に準じて、現職研修の一環として、1年間の研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得させ、職務を適切に遂行することのできる資質の向上を図ることを目的とする。

## 2 主催

徳島県教育委員会

## 3 対象

- (1) 「フレッシュ研修Ⅰ（医療的ケア（自立活動）担当）受講者名簿」に記載されている者とする。
- (2) 徳島県教育委員会は、その所管する学校の初任者について、年間研修計画及び年間指導計画に従い、1年間の研修を受けさせるものとする。

## 4 内容

フレッシュ研修Ⅰ（医療的ケア（自立活動）担当）は、次の3つで構成している。

- (1) 校内研修（年間20時間）  
指導教員が中心となって学校現場の実態に即した指導助言を行い、学校組織や学校運営に関する理解や児童生徒理解、自立活動等の基礎・基本的能力と態度を養成する。
- (2) 校外研修（7日）  
「とくしま教員育成指標」に示された「素養」・「担任力・生徒指導」・「特別支援の充実」・「ICT利活用」に関する研修は、フレッシュ研修Ⅰにおける校外研修の中で行い、「授業力・学習指導」に関する研修は、スキルアップ研修を設けて行う。
- (3) 課題研究  
学校教育において当面する課題を設定し、専門家の指導を受けながら、指導を受けながら課題に取り組むものとする。

## 5 年間研修計画

- (1) 徳島県教育委員会は、年間研修計画を作成する。
- (2) 年間研修計画は、校内研修、校外研修の項目や時期、その他必要な事項を定めるものとする。

## 6 年間指導計画

- (1) 校長は、徳島県教育委員会の年間研修計画に基づき、教職員組織や校区の状況等、学校の実情に配慮し、指導教員の参画を得て、当該学校における校内研修年間指導計画を作成するものとする。
- (2) 校内研修年間指導計画においては、校外における研修との関連に配慮して、指導教員を中心とする研修の項目及び時期、その他必要な事項を定めるものとする。

## 7 指導教員を中心とする校内体制

- (1) 指導教員は、教頭が担当し、初任者に対して指導及び助言を行うものとする。
- (2) 校長、副校長は、年間指導計画に従い、研修項目に応じて、初任者の指導及び助言に当たるものとする。
- (3) 指導教員以外の教職員は、校長、副校長の指導のもとに、年間指導計画に従い、指導教員と連携しつつ、初任者の指導及び助言に当たるものとする。
- (4) 指導教員は、指導教員以外の教職員による初任者に対する指導及び助言の状況を把握し、年間を通して系統的、組織的な研修が行われるように配慮するものとする。
- (5) 校長は、指導教員を援助する学校全体としての協働的な体制を確立するものとする。
- (6) 校長は、初任者が校外研修を受ける間、その職務が他の教職員等によって適切に行われるように配慮するものとする。
- (7) 校長は、学校の教職員組織の実態に応じて、適宜、初任者の校務分掌を軽減できるものとする。

## 8 校内研修年間指導計画及び指導記録

校長は、当該学校における校内研修年間指導計画及び指導記録等を、当該学校を所管する教育委員会（特別支援教育課）に提出するものとする。

## 第4章 校内研修

所属校において、医療的ケア（自立活動）担当教諭の職務等に関する基礎・基本的能力を養うことをねらいとして研修する。校内研修の位置付けは重要であり、研修を進めるにあたっては、指導教員を中心に学校全体で協働的に実施することが必要である。

指導教員は、校内研修年間指導計画に基づき、校長をはじめ他の教職員と連携を図り、指導にあたる。

### 1 期日

令和8年4月～令和9年3月の間。

（年間20時間で運用する。）

### 2 内容

現代的課題への対応や個々の事柄に対応できる能力を身に付けるための研修を行う。

### 3 計画

次の項目を参考に学校の実態に応じて、指導教員と協議の上、計画を立てて実施する。

基礎研修	<ul style="list-style-type: none"><li>・学校教育職員として必要な幅広い知識と使命感</li><li>・教育課程に関する基本的な事項</li><li>・人権教育、生徒指導</li></ul>
学校運営	<ul style="list-style-type: none"><li>・特別支援学校に関する基本的な事項</li><li>・学校の組織に関する基本的な事項</li><li>・センター的機能に関する事項</li></ul>
特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"><li>・個別の教育支援計画、個別の指導計画</li><li>・障がい特性</li><li>・自立活動</li><li>・障がい特性に合わせた教育支援</li></ul>

## 第5章 校外研修

### 1 研修内容

資質・能力	研修名
1 素 養	開講式
	服務研修
	コミュニケーション研修
	ネットワーク構築研修（家庭や地域との連携）
	教職キャリアデザイン研修
	体験発表
2 授業力・学習指導	第1回特別支援学校医療的ケア担当者研修会
3 担任力・生徒指導	スキルアップ研修①
4 特別支援の充実	実技研修
	スキルアップ研修②
	特別支援教育研修Ⅰ
	第2回特別支援学校医療的ケア担当者研修会
	スキルアップ研修③
	スキルアップ研修④
5 ICTの利活用	学校事務研修
	ICTの活用研修

※各研修は、複数の資質・能力と関連するが、主とする資質・能力で分類した。

### 2 受講上の心構え

#### (1) 十分な事前準備をする

研修の期日が決まった時点で、早めに、教務主任などに出張を伝え、事前の準備をする。  
出張内申等の事務手続きも併せて行う。

#### (2) 時間を厳守する

「実施要項」を確認し、集合時刻の5分前には着席できるように、時間に余裕をもって出席する。無断欠席・遅刻は厳禁である。

#### (3) T（時）P（場所）O（場合）を考え、研修にふさわしい服装で参加する

日頃から、同僚や保護者、地域の方から好感をもたれ、児童生徒の手本となるよう服装や髪型に気を遣う。教職員としての品性が疑われないよう心掛ける。

#### (4) 明るく元気に、挨拶する

人間関係は、礼に始まり礼に終わる。心を開き、触れ合うことで初めて温かい人間関係は成り立つ。児童生徒の手本となる挨拶を心掛ける。

#### (5) 学びを振り返る

「校外研修の記録」（様式1）等を活用し、研修での学びを自分なりにまとめ、関係者に報告する。最新の情報については、機会を見つけて、校内研修の資料として活用してもらう。

### 3 全体計画

教員として必要とされる素養、人権教育、特別支援教育等の講義、演習を行うとともに医療的ケア（自立活動）担当の職務に関する専門的内容についての講義、演習、協議を行う。

【場所：総合教育センター他】（7日）

月 日	時間	内 容	
4月 2日（木）	午前	開講式・サービス研修・学校事務	合同
	午後	オリエンテーション・講義	医ケア
4月13日（月）	午後	【オンライン】 第1回特別支援学校医療的ケア担当者研修会	医ケア
6月中旬頃	終日	スキルアップ研修①（学校にて対面）	医ケア
7月24日（金）	午前	コミュニケーション研修	合同
	午後	ネットワーク構築研修	
8月上旬頃	未定	実技研修	医ケア
7月29日（水）	午前	【オンライン】 スキルアップ研修②	医ケア
8月 4日（火）	午前	特別支援教育研修Ⅰ	合同
8月下旬頃	未定	【オンライン】 第2回特別支援学校医療的ケア担当者研修会	医ケア
10月23日（金）	午後	【オンライン】 スキルアップ研修③	医ケア
1月20日（水）	午後	【オンライン】 スキルアップ研修④	医ケア
2月 3日（水）	午後	教職キャリアデザイン研修 体験発表	合同

※校外研修のうち、「医療的ケア（自立活動）担当」受講者のみの研修については、案内通知文書及び実施要項を発送する。ただし、合同研修の詳細については、総合教育センターのWebサイト「教職員研修講座」のページ内「講座要項」により確認すること。

## 4 研修内容とねらい

### (1) 開校式／サービス研修／学校事務研修／オリエンテーション等について

教育公務員の倫理とサービスを学び、職務遂行に当たっての行動規範について理解を深める。また、学校事務について理解し、事務手続きが円滑に進むようにする。さらに、年間を通じたフレッシュ研修Ⅰの流れについて理解する。

【とくしま教員育成指標】○素養「A 使命感・倫理観」「D 学校組織マネジメント力」「F 危機管理能力」  
○ICTの利活用「B ICTを効率的な業務の遂行に活用する力」

### (2) 第1回特別支援学校医療的ケア担当者研修会について

医療的ケアの現状と課題についての知識を養う。また、「学校における医療的ケア」と「学校で働く看護師」の役割や意義について理解を深める。

【とくしま教員育成指標】○素養「E 連携・協働力」「F 危機管理能力」  
○担任力・生徒指導力「A 幼児児童生徒理解・指導力」  
「F チームによる組織力」

### (3) スキルアップ研修①②③④

勤務校における医療的ケアの現状と課題について整理し、課題解決に取り組む力を養う。また、医療的ケアの視点から教育を担うポイントを整理し、学校で働く看護師として教育活動にアプローチする実践力を身に付ける。最後に課題研究として取り組んだことを発表し、成果を共有する。

【とくしま教員育成指標】○素養「C 社会性・コミュニケーション力」「E 連携・協働力」  
○担任力・生徒指導力「A 幼児児童生徒理解・指導力」「C 課題解決力」  
「E 目標の明確化・実態把握力」  
「F チームによる組織力」

### (4) コミュニケーション研修／ネットワーク構築研修(家庭や地域との連携)

集団での体験研修を通して、コミュニケーション力、人間関係調整力等の向上を図るとともに、受講者同士のつながりを深める。また、保護者や地域との連携の在り方、要望等への対応の仕方などを身に付ける。

【とくしま教員育成指標】○素養「B 識見・学び続ける力」「C 社会性・コミュニケーション力」  
「E 連携・協働力」

### (5) 特別支援教育研修

特別支援学校又は小・中学校の特別支援学級の教員から、特別支援教育の現状について、説明を聞き、児童生徒一人一人を見つめ、個に応じた指導方法や支援方法を身に付ける。

【とくしま教員育成指標】○素養「B 識見・学び続ける力」「C 社会性・コミュニケーション力」  
○担任力・生徒指導力「A 幼児児童生徒理解・指導力」

**(6) 第2回特別支援学校医療的ケア担当者研修会について**

学校において医療的ケアを安全確実に実施するために必要な知識及び技能の修得を図る。

【とくしま教員育成指標】 ○素養 「B 識見・学び続ける力」 「F 危機管理能力」

○担任力・生徒指導力 「A 幼児児童生徒理解・指導力」 「C 課題解決力」

**(7) 教職キャリアデザイン研修／体験発表**

「とくしま教員育成指標」を基に1年間の勤務と研修の振り返りを行い、研修の成果を踏まえ、課題を整理するとともに、フレッシュ研修Ⅱ等、今後の研修に向けて、各自の課題の解決に向けての取組について明確化を図る。

【とくしま教員育成指標】 ○素養 「B 識見・学び続ける力」

## 5 留意事項

### (1) 出張の手続

研修の際は、校長に願い出て承認を受ける。

### (2) 欠席等の手続

#### ① 欠席・遅刻・早退等について

前年度から実施日が決定している集団宿泊行事や修学旅行等の引率等が欠席等の承諾の対象となる。

#### 【手続きの手順】

- ア 予定が分かった時点で、速やかに、管理職員が電話等により、「フレッシュ研修Ⅰ（医療的ケア（自立活動）担当）」担当に連絡する。（TEL088-621-3141）
- イ 特別支援教育課長の指示により、欠席を承諾された場合、管理職員は「フレッシュ研修Ⅰ（医療的ケア（自立活動）担当）欠席届（様式5）」を、特別支援教育課「フレッシュ研修Ⅰ（医療的ケア（自立活動）担当）」担当にメールで送付する。
- ウ 特別支援教育課「フレッシュ研修Ⅰ（医療的ケア（自立活動）担当）」担当が欠席課題を後日送付する。
- エ 受講者は、学校長の「文書鑑（様式6）」を添付の上、「フレッシュ研修Ⅰ（医療的ケア（自立活動）担当）の欠席課題報告書（様式7）」を後日、特別支援教育課「フレッシュ研修Ⅰ（医療的ケア（自立活動）担当）」担当にメールで提出する。

#### ② 緊急の場合の欠席・遅刻・早退等について

急病や交通事故等が対象となる。また、1時間を超える遅刻、早退となった場合は欠席届を提出する。

#### 【手続きの手順】

- ア 原則、管理職員から特別支援教育課「フレッシュ研修Ⅰ（医療的ケア（自立活動）担当）」担当（TEL088-621-3141）に電話連絡をする。やむを得ない状況の場合、速やかに本人が、特別支援教育課「フレッシュ研修Ⅰ（医療的ケア（自立活動）担当）」担当へ電話連絡をする。
- イ 欠席を承諾された場合、管理職員は「フレッシュ研修Ⅰ（医療的ケア（自立活動）担当）欠席届（様式5）」を、特別支援教育課「フレッシュ研修Ⅰ（医療的ケア（自立活動）担当）」担当までメールで送付する。
- ウ 特別支援教育課「フレッシュ研修Ⅰ（医療的ケア（自立活動）担当）」担当が欠席課題を送付する。
- エ 受講者は、学校長の「文書鑑（様式6）」を添付の上、「フレッシュ研修Ⅰ（医療的ケア（自立活動）担当）の欠席課題報告書（様式7）」を後日、特別支援教育課「フレッシュ研修Ⅰ（医療的ケア（自立活動）担当）」担当までメールで提出する。

③ 警報の発表時について

午前7時の時点（午後開催の場合は午前10時）で研修会場を含む地域（総合教育センターの場合は「板野町」地域）に、特別警報又は暴風警報、大雪警報が発表中の場合は、その日の研修を中止する。後日、振り替えて実施することはない。

「医療的ケア」に関する研修の場合、自宅付近が危険な状況の場合は、特別支援教育課「フレッシュ研修Ⅰ（医療的ケア（自立活動）担当）」担当（TEL088-621-3141）に電話連絡し、指示を受ける。

(3) 受講日の携行品等

① 「校外研修の記録（様式1）」

- ・ 7日間全ての校外研修について記録し、各研修の受講後に、速やかに指導教員に提示し、研修の概要を報告して校内研修とつなげるように活用する。
- ・ 校外研修の全講座終了後、所属校長に提示し、指導助言を受ける。

② 名札

③ 「フレッシュ研修Ⅰ（医療的ケア（自立活動）担当）の手引」

④ その他、各研修の実施要項に示されているもの

## 第6章 課題研究

新規採用医療的ケア（自立活動）担当が、学校教育において当面する課題を設定し、指導を受けながら主体的に課題に取り組むものとする。

### 1 課題研究テーマ

「個別の教育支援計画及び個別の指導計画に基づく医療的立場からのアプローチについて」  
上記テーマについて、幼児児童生徒1名の実践に取り組み、その事例について研究報告書を形成する。

### 2 課題研究報告書の作成について

#### (1) 章立ての例

(例)

タイトル

-サブタイトル-

※サブタイトルは必ずしも必要ではない。

#### 1 幼児児童生徒の実態について

「障がい名」、「学年」、「アセスメント」等、幼児児童生徒の実態について記入する。  
また、指導場面での幼児児童生徒の様子等についても記入する。

#### 2 指導目標について

指導目標に関する保護者の願いを記入する。それを受けて、幼児児童生徒にどのような力をつけさせたいのかを考え、指導目標を設定する。

#### 3 指導・助言について

- (1) 専門家からの指導・助言内容について記入する。
- (2) 指導助言を受けての見直し内容についても記入する。

#### 4 指導の経過

指導の期間ごとにどのような指導を行ったのかを記入する。指導の経過をわかりやすくするために写真等を挿入してもよい。

#### 5 指導の結果

幼児児童生徒の変容として、回数、時間、量など客観的な数値で評価できる場合は、必ず数値の変化も記入する。また、指導の過程で、家庭での変容や教職員の変容があれば併せて記入する。

取り組んだ内容についての成果と課題ではなく、「Ⅱ 研究のねらい」に立ち返って取組についての評価を行い、それをふまえた成果と課題を書く。

#### 6 まとめと今後の課題

今回の事例研究によって明らかになったこと（結果）をもとに、意見や考えを述べる。

## (2) 様式

- ・原稿は、課題研究報告書様式1 (Word) または様式2 (パワーポイント) を使用する。
- ・様式1を使用する場合はA4判左とじ横書き2枚、文字数は40文字×40行を目安とする。
- ・様式2を使用する場合は、スライド16枚、文字の大きさは24ポイント以上を推奨する。

## (3) 課題研究発表

スキルアップ研修④にて、課題研究の成果を発表し、成果を共有する。

期日：令和9年1月20日（水）

会場：各学校（オンライン）

## (4) 課題の提出

① 提出方法 電子メール

② 提出期限 令和9年1月29日（金）

- ・スキルアップ研修④での専門家からの指導や助言を反映すること。
- ・提出に当たっては、学校長等の指導を受けること。

③ 提出先 特別支援教育課 [tokubetsushienkyouiku@mt.tokushima-ec.ed.jp](mailto:tokubetsushienkyouiku@mt.tokushima-ec.ed.jp)

## (5) 成果普及

- ・実践成果は県教育委員会主催の研修等で発表する場合がある。
  - ・実践成果は徳島県立総合教育センターのホームページへ掲載するものとする。
- ※上記2項目については、保護者の同意（様式3同意書）が得られたものに限る。

## 課題研究報告書

### 1 幼児児童生徒の実態について

- (1) 所属学部：
- (2) 学 年：
- (3) 氏 名：

### 2 指導目標について

：

### 3 指導・助言について

- (1) スキルアップ研修で受けた指導・助言の内容

：

- (2) 指導・助言を受けての見直し内容

：

### 4 指導の経過

：

### 5 指導の結果

：

### 6 まとめと今後の課題

：

(様式2)

課題研究報告書

○○○○○○○

徳島県立○○支援学校 □□ □□

1

児童・生徒の実態

2

保護者の願い

教員の願い

3

アドバイザーからの助言

4

助言を受けての見直し

6

指導の成果

8

保護者・家庭との連携

5

指導の手続き

7

今後の課題

9

## 特別支援学校 学校看護師の「実践研究」への御協力について

徳島県教育委員会では、特別支援学校の専門性向上を図るために、教育分野・医療分野等の専門家と協働し、学校看護師（医療的ケア（自立活動）担当）が、指導・助言を受けながら実践を進めていく「スキルアップ研修」に取り組んでいます。

この度、その取組の1つとして、医療的ケアを必要とする幼児児童生徒への個別の教育支援計画や個別の指導計画に基づく医療的立場からのアプローチを目的とした「実践研究」を行っています。

また、スキルアップ研修の成果については、研修等で他校の教員へ報告するなど広く周知することで、徳島県全体の学校看護師のさらなる専門性向上につなげたいと考えております。

なお、大切なお子様への医療的ケアの充実に向けたスキルアップ研修を、効果的でより良い実践とするためには、保護者の方の御理解と御協力が必要です。

つきましては、以下の内容を御確認いただき、必要事項を御記入の上、学級担任まで御提出いただけますようお願いいたします。

徳島県教育委員会 特別支援教育課

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・切り取り線・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

### 特別支援学校 学校看護師の「実践研究」

#### 同意書

1. お子様にとってより良い医療的ケアの取組を示す必要性が生じた場合に、専門家がお子様へ医療的ケアに関する指導・助言を行うことについて  
( ) 同意します ( ) 同意しません
2. 取組場면을振り返りながら専門家から指導・助言を受けたり、実践成果を確認したりするため、お子様の医療的ケアの場면을動画等で記録することについて  
( ) 同意します ( ) 同意しません
3. 同じような医療的ケアの課題が生じているお子様への取組の充実が図られるよう、個人が特定できないようにした記録動画等を、教職員や看護師等の研修目的で使用することについて  
( ) 同意します ( ) 同意しません
4. お子様の個人情報をも保護した形で作成した成果報告を、徳島県立総合教育センターのホームページへ掲載することについて  
( ) 同意します ( ) 同意しません

令和 年 月 日

保護者のお名前 \_\_\_\_\_

お子様のお名前 \_\_\_\_\_

## 第7章 諸手続及び保存すべき文書

### 1 校内研修年間指導計画及び指導記録等について

校長は、当該学校における校内研修年間指導計画書及び指導報告書等を、当該学校を所管する教育委員会に提出するものとする。

#### (1) 提出物

- ① 校内研修年間指導計画と実施報告（様式2）
- ② フレッシュ研修Ⅰ（医療的ケア（自立活動）担当）の所感（様式3）
- ③ 学校長・指導員指導講評（様式4）

#### (2) 提出先

各1部を徳島県教育委員会特別支援教育課へ提出する。

#### (3) 提出期限

##### ア(1)の①

学校 → 徳島県教育委員会特別支援教育課 令和8年5月15日（金）

##### イ(1)の①②③

学校 → 徳島県教育委員会特別支援教育課 令和9年2月15日（月）

### 2 保存すべき文書について

各学校は、実績に基づき次の文書等の整備及び保管を行う。保存期間は5年とする。

- (1) 校内研修年間指導計画と実施報告（様式2）
- (2) フレッシュ研修Ⅰ（医療的ケア（自立活動）担当）の所感（様式3）
- (3) 学校長・指導教員指導講評（様式4）

# 校外研修の記録

(様式1)

## 校外研修の記録

研修名

月 日 ( )

日程・講師等

講義等内容

感想・意見等 (学びを学校での実践にどのように生かすか)

指導教員点検

校長点検

※校外研修の際は必ず持参し、研修内容を記録すること。様式は総合教育センターのWebサイトからダウンロードが可能。

※研修内容により指導を受けている校内指導教員に見せること。また、研修の配付資料と共に提出し、校内研修との連携を図るようにすること。

※校長点検から返却後、保存しておくこと。

# 校内研修様式

( P 2 1 参照 )

(様式 2)

## 校内研修年間指導計画と実施報告

学 校 名 ( )

校 長 名 ( )

指 導 教 員 名 ( )

教 諭 名 ( )

	実施予定日 月/日(曜日)	時間数	研 修 内 容	実施日 月/日(曜日)
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

	実施予定日 月/日(曜日)	時間数	研 修 内 容	実施日 月/日(曜日)
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				

(記入例)

## 校内研修年間指導計画と実施報告

学 校 名 ( )

校 長 名 ( )

指導教員名 ( )

教 諭 名 ( )

	実施予定日 月/日(曜日)	時間数	研 修 内 容	実施日 月/日(曜日)
1	4月4日 (金)	1.5	・校内研修年間指導計画立案 ・特別支援学校の概要について	4月4日 (金)
2	4月10日 (木)	2	・個別の教育支援計画及び個別の指導計画 について ・教育課程及び自立活動について	4月11日 (金)
3	5月14日 (水)	1	・人権教育について	5月15日 (木)
4	○月○日 (○)	○	・○○○○○	○月○日 (○)
5	○月○日 (○)	○	・○○○○○	○月○日 (○)
6	○月○日 (○)	○	・○○○○○	○月○日 (○)
7	○月○日 (○)	○	・○○○○○	○月○日 (○)
8	1月21日 (水)	1.5	・課題研究報告書作成に係る指導	1月22日 (木)
9				
10				





# 校外研修様式

(特別支援教育課提出用)

(様式 5)

令和 8 年度フレッシュ研修 I (医療的ケア (自立活動) 担当)  
欠席届

令和 年 月 日

徳島県教育委員会特別支援教育課長 殿

学校名  
校長氏名

欠 席 届

次のとおり、本校職員が ※  
次のおり、本校職員が  
・基本研修 ・職務研修 ・推薦研修  
・特別研修 ・希望研修  
・大学・研究機関等研修  
の研修講座を  
欠席しますのでお届けします。

1 職 ・ 氏 名

2 研修講座名 令和 8 年度フレッシュ研修 I (初任者研修)  
( ) 研修

3 欠席する期間 令和 年 月 日 曜日から  
令和 年 月 日 曜日まで ( ) 日間

4 欠席の理由

【送付先】 特別支援教育課 tokubetsushienkyouiku@mt.tokushima-ec.ed.jp

※詳細説明は「フレッシュ研修 I (医療的ケア (自立活動) 担当) の手引」  
1 2 ページを読んでください。

(様式6)

令和 年 月 日

徳島県教育委員会特別支援教育課長 殿

学校長

フレッシュ研修Ⅰ（医療的ケア（自立活動）担当）（ ）の欠席  
課題について(送付)

このことについて、別添のとおりお送りします。

(様式 7)

フレッシュ研修 I (医療的ケア (自立活動) 担当)  
( ) の欠席課題報告書

研修日	令和 年 月 日 ( )	校種 (番号)	( )
学校名		職・氏名	

令和 8 年度  
フレッシュ研修 I  
(医療的ケア(自立活動)担当)の手引

令和 8 年 3 月 発行

編集発行 徳島県教育委員会

特別支援教育課 連絡先

〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地

特別支援学校担当

電 話 088-621-3141

ファクシミリ 088-621-3056